

(平成29年度追加分)

災害の概要	公務災害防止対策の内容
排水溝のゴミを除去するために、グレーチングを外そうとしたところ、 <u>勢い余って転倒</u> し、グレーチング間に <u>指を挟み</u> 、指を切断した。(教員)	○グレーチング専用フックの整備、保護具の着用、施設の日常点検を実施した。
清掃中、石段に <u>足を引っかけて転倒</u> し、手をついた時に左手を骨折した。(教員)	○階段の淵に段差明示テープを貼った。
廊下を歩行中、降雨対策として常設している屋外用マットの端に <u>躓き転倒</u> し、右膝を挫創した。(実習助手)	○外れていた屋外用マットの縁駒等を取り付け、補修を行った。
体育館壁面設置の梯子で2階から1階へ降りる時に、 <u>バランスを崩し後ろ向きに落下</u> 、右手を打ち骨折した。(教員)	○伸縮式梯子の使用を徹底させた。 ○伸縮式梯子を使用し必ず二人以上の職員で十分安全確保を行うよう全職員に周知した。
木製すのこを敷いた廊下を歩行中、前を歩く職員が踏んだすのこの後方部分が浮き上がり、それに <u>躓き転倒</u> し、手を捻挫した。(養護教諭)	○すのこ間の隙間をなくし、反り返って浮き上がるものについては、すのこ同士を紐で結びつけ固定した。
運搬作業中、地面に引かれていた電源コードにキャスターが引っかかり、運搬物を持ち上げたところ、 <u>手が滑って足に落下</u> し、挫創した。(教員)	○電源コードの配置を変更し、運搬や通行の妨げにならないようにした。 ○重量のある運搬物は4名で運搬するように変更した。
工事の実地査定を受けていた際に、河川堤防の法面を降りようとしたところ、 <u>足を滑らせて落下</u> し、岩に胸を強打して負傷した。(技師)	○幹部職員会議及び所内連絡会議で注意喚起を行った。 ○現場では、ヘルメット、長靴、作業着着用の徹底とともに、足場の安全確認についても徹底させることとした。
出張のため、急いで外に出ようとした際、ガラス張りの扉が閉まっていることに気づかず <u>衝突</u> し、顔面を強打し骨折した。(技師)	○ガラス張りの扉に、半透明のテープを目線の高さに貼ることで、ガラス戸があることに気づきやすくさせた。
倉庫内の清掃中、鋏置き場にかけてあった鋏が <u>落下</u> してきて、頭部にあたり負傷した。(技術主査)	○鋏などは、通行の少ない場所の床に置くことにした。 ○ビニル紐で鋏の柄を押さえることで、倒れないようにした。
柑橘の施肥作業を行っていたところ、 <u>スズメバチに襲撃</u> され、背部を刺され負傷した。(主任技師)	○スズメバチの巣を撤去後、近隣に営巣していないか確認する。 ○死角となる場所に蜂が営巣していないか、日頃から注意する。 ○蜂の飛来が多い時には、作業を中断し、チーム長又は部長に報告する。 ○蜂に刺された場合は、速やかに毒を吸引し、事故の発生を報告するとともに、病院で治療を受ける。
ナースステーション内の傾いていた感染性廃棄物処理容器を戻そうとして、蓋から出ている <u>針が指先に当たり</u> 負傷した。(看護師)	○感染性廃棄物ボックスの収納場所を変更した。 ○感染性廃棄物ボックスに触れる際は、安全性を確認した上で、ボックスの下半分に触れるよう周知した。
病院で検査のため、患者の腹部に注射器で少量の腹水を吸引し針を抜く際、顔面に <u>腹水が曝露</u> した。(医師)	○腹腔穿刺を行う際にはゴーグルを着用し、眼を防御することにした。